

米国代理人 Robert Busby 氏の来所とセミナー

2011年1月26日、Morgan Lewis & Bockius LLP ワシントン D.C. オフィスの弁護士 Robert Busby 氏と薬理学博士で弁護士の Robert Smyth 氏が当所を訪問して、セミナーを開いてくれました。

議題は「KSR 判決後の自明性(obviousness)の判断に関する新ガイドライン」で、KSR 判決後、TSM (Teaching, Suggestion, Motivation) test 判断基準が大分変わってきているようです。

今後も、このような交流を大切にし、各国の情報を収集し、理解して、研鑽を積んでまいります。

この場を借りて、セミナーを開いてくれました Robert Busby 氏と Robert Smyth 氏に改めて感謝いたします。



セミナーの様子 (一番奥左 Robert Smyth 氏 右 Robert Busby 氏)